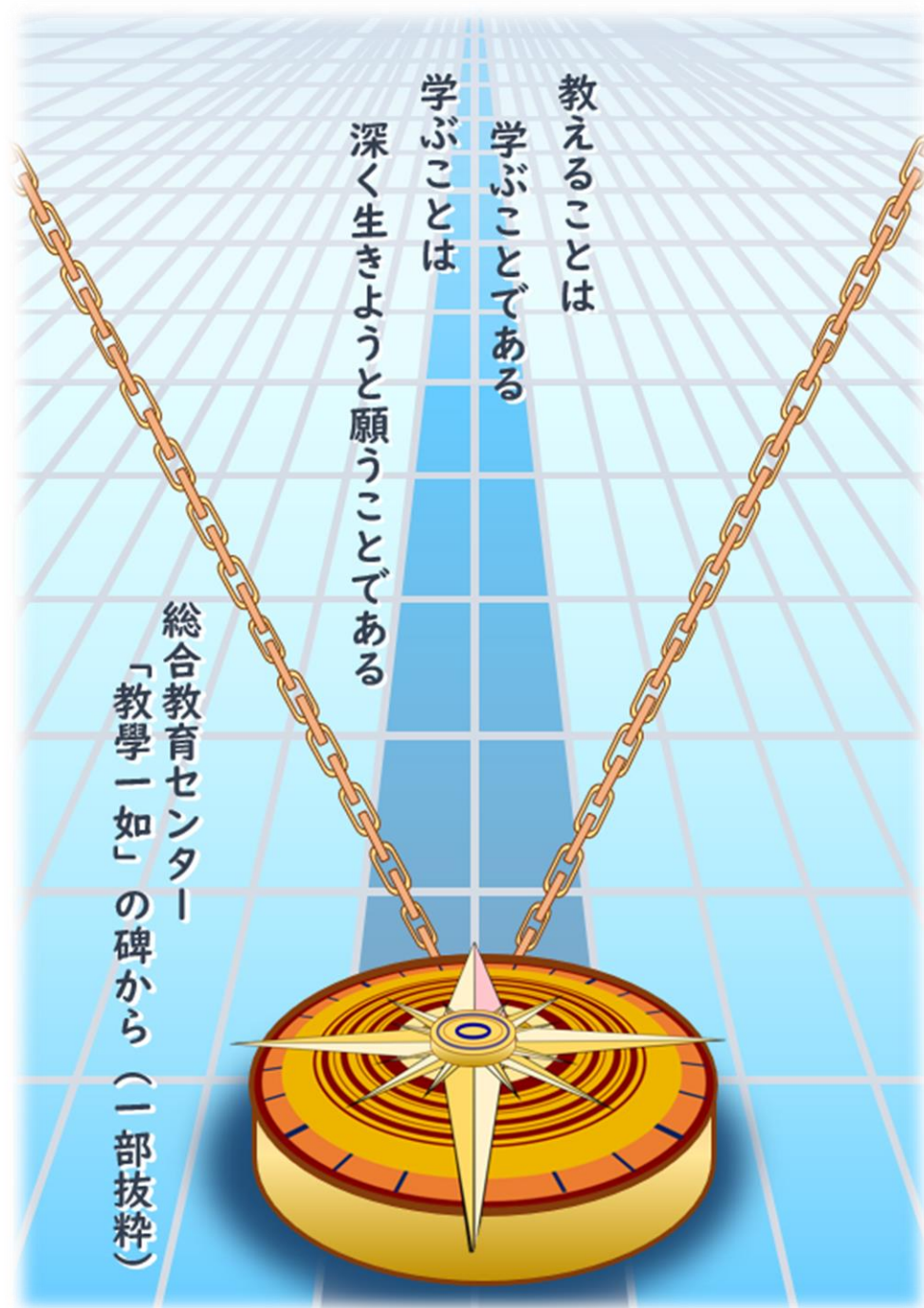


学びの羅針盤



令和7年3月
鹿児島県教育委員会

発刊に寄せて

平成 27 年 3 月に、学び続ける教員の手引書として「学びの羅針盤」が発刊され、これまで各学校の授業改善を目指した校内研修など様々な機会を活用されてきました。

令和 6 年度の改訂では、中教審令和 3 年答申において示された「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」をより一層推進するため、「学習者主体の授業」の実現を図るよう大きく刷新しました。本資料では、これからの時代に、なぜ「学習者主体の授業」が必要とされているのか、さらに、「学習者主体の授業」を進めていくためにはどのような考え、方法が必要になるのかについて述べています。また、後半には「学習者主体の授業」の実践例を掲載しています。

子供の学びの深まりや学力は、授業の質や学校全体の取組により大きく左右されます。だからこそ、個々の教員や学校は、一人一人の子供と学校全体の学力の現状を真摯に見つめ、質の高い授業の実現や授業改善に向けた学校の組織的な取組の充実を目指さなければなりません。そのために、先達がこれまでに蓄積してきた知見を生かし、教員一人一人が主体性を発揮し、同僚性を高めながら研鑽に努めていくことが求められているのです。

本資料を媒介として、「学習者主体の授業」を各学校で実践していくためにはどのようにすればよいかを教員同士で意見を交流したり、授業改善の在り方を論議したりしてほしいと思います。また、保護者の方々とも同様に学力向上について語り合う姿も期待します。

最後になりますが、発刊につきまして御協力いただいた鹿児島県学力向上検証改善委員会をはじめとする関係の皆様には、厚く御礼申し上げます。

令和 7 年 3 月

I 鹿児島県の教員として P I

II 「学習者主体の授業」の必要性 ～主体的・対話的で深い学びを実現するために～ P 2～P 11

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 子供たちにどのような資質・能力を育成すればよいですか | … P 2 |
| 2 子供たちの資質・能力を育成するためには何が求められていますか | … P 3 |
| 3 鹿児島県の子供たちの学力や学習状況の現状はどうなっていますか | … P 4 |
| 4 「学習者主体の授業」を実現するにはどのような考えが必要ですか | … P 6 |
| 5 「学習者主体の授業」を進める上で大切な視点は何か | |
| 視点Ⅰ 「学習者主体」の視点を重視した授業研究 | … P 7 |
| 視点Ⅱ 「生徒指導」の視点を重視した授業改善 | … P 8 |
| 視点Ⅲ 「特別支援教育」の視点を重視した授業改善 | … P 9 |
| 視点Ⅳ 「教育DX」の視点を重視した授業改善 | … P 10 |

III 「学習者主体の授業」による学びの質の向上 P 12～P 25

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| 1 「学習者主体の授業」は、具体的にどのように進めればよいですか | … P 12 |
| 2 「学習者主体の授業」を進める上で、教員はどのように関わればよいですか | … P 14 |
| 3 「学習者主体の授業」とつながる家庭学習はどのように進めればよいですか | … P 14 |
| 4 「学習者主体の授業」の進め方について、実践例はありますか | … P 15 |



中教審令和 3 年答申では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められています。二次元コードを読み取り、その概要を確認しておきましょう。

← 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第 228 号）【令和 3 年 4 月 22 日更新】